



こんにちは 府會議員

# さこ祐仁 活動報告

2008年7月13日発行 No.62  
千本出水下る十四軒町392  
さこ祐仁事務所  
Tel.075-813-2117

## 志位委員長をむかえた6日・みやこめっせ一区演説会は1600人の参加で成功しました。 8月下旬の国会で、差別医療制度を廃止させ、来たる総選挙で日本共産党を躍進させましょう！



写真(上) 本会議で、私の一般質問のひとコマ。

7日、府議会本会議で一般質問を行ない、木造住宅耐震改修助成制度の一層の拡充、地域商店への支援、中小企業の融資制度の改善などを強く求めました。

木造住宅への耐震改修助成制度については、府の改修助成制度の利用は07年度には1件だけだったことや、市町村で制度を設けているのは10自治体に留まっている問題を指摘し、「今年度にすべての市町村で、耐震改修制度が創設される必要がある」と迫りました。

大型店対策については、府の提出した資料に、大型店の出店で地元の小売店がどんな影響を受けているのか全く書かれていないことを批判。府による条例の制定や京都市との協議を求めました。

中小零細業者を救うためにも、制度融資の受付窓口を行政機関に戻すことを求めました。また、中小業者が返済不能になった場合に、再建事業の支援のひとつとして、府信用保証協会が債権を放棄できる「制度融資損失補償」を府の条例で認めるよう求めました。

日本共産党府会議員団は1日、京都府の緊急対策を求めて「生活物資高騰、原油価格高騰に関わる緊急申し入れ」を行ないました。

今回の申し入れは、調査の結果を踏まえ、①府に府民生活を守る緊急対策本部の設置、全庁的な総合対策、②府民生活全般での原油・穀物高騰の影響を調べる緊急調査の実施、③府民が気軽に相談できる総合窓口の設置、④暮らしの資金の通年化や生活福祉資金の拡充、営業や暮らしの「つなぎ」資金の創設、すでに実施している「原油高騰対策緊急融資」の広報強化、⑤政府の緊急対策に盛り込まれている・社会福祉法人等に対する福祉ガソリン支援・学校給食の保護者負担の軽減・福祉施設や公衆浴場に対する助成の具体化、⑥投機マネー抑制のルール確立を政府に求めること、の6点です。

また同日、京都府教育委員会に対し「食材費の高騰等による学校給食への影響に関する緊急申し入れ」も行ない、府内の多くの自治体で給食費が値上がりする事態であり、保護者負担の軽減の具体化を強く求めました。

先日、お風呂屋さんを訪問し、話を聞きました。

「土地柄だと思うが、高齢者のお客が多い。もし今廃業したらお年寄りの皆さん困るだろうと思う。そんなことを考えるのは、原油の高騰で燃料の廃油が06年に比較して1リットル約2倍の48円の値段になっている。最近は何に3回以上は上がる。しかも1回で1リットル4〜5円は上がる。平均



月に3000リットル使用しているので、燃料費は馬鹿にならないのです。入浴料が8月から20円上がり410円になるけど、お客さんが減るのではないかと心配されていました。利益は減り、高齢化で府内の風呂屋は、20軒を割る状況になっていて、業界としては、後継者難だそうです。

「最近、スーパー銭湯などが進出してきているが、設備の古い風呂屋では太刀打ちできない。もし自由料金になったら、資本の強いところには負ける。燃料費の上昇が分の実費使用量を行政から補填してもらえたら助かるなあ」と、切実なお風呂屋さんの声でした。まじめに働くものを応援する政治に切り換えなければ、と強く感じました。

写真(右) 天神宣伝のひとコマ。こくた国会対策委員長・くらた市会議員と。激励の声が次々にかかりました。

